

## 御嵩町第五次総合計画後期基本計画の策定体制等について

### ◆住民ワークショップ、学生ワークショップの開催

- ◎第五次総合計画策定の際には、素案策定として「まちのたね見つけ隊」を町民や若手職員で組織し、意見をまとめました。
- ◎後期基本計画の策定にあたっては、まちのたねを大きく成長させたい思いを含め、「まちの芽うるおい隊（仮称）」として、ワールドカフェ形式で気軽に意見交換を行います（3回程度）。
- ◎その他、学生ワークショップとして、「まちの土をこやし隊（仮称）」での意見交換や、町全体で取り組むべきSDGsの推進に向けたカードゲームによる学びを行います（2回程度）。
- ◎意見交換の内容は、後期基本計画への反映や、御嵩町に若者が住み続けることができるように住民と行政が協働で推進していくためのヒントとして活用します。
- ◎メンバーは固定しませんが、可能な限り全体を通じて参加できるメンバーを募集します。

住 民 「まちの芽うるおい隊（仮称）」 公募など 約20名	○5年間の振り返りと課題 ○重点テーマの検討、素案作成
若 者 「まちの土をこやし隊（仮称）」 高校生など 約15名	○まちの良さ・宝探し ○魅力づくり
若手職員 10～15名	○住民会議などへ参加

### ◆検討体制図

◎前述の「まちのたね見つけ隊」の活動を踏まえ、「たね」を育てていく活動（住民ワークショップ）と、新しい「たね」を見つけていく活動（学生ワークショップ）での検討を中心に、後期計画の策定体制を次のとおりとします。

